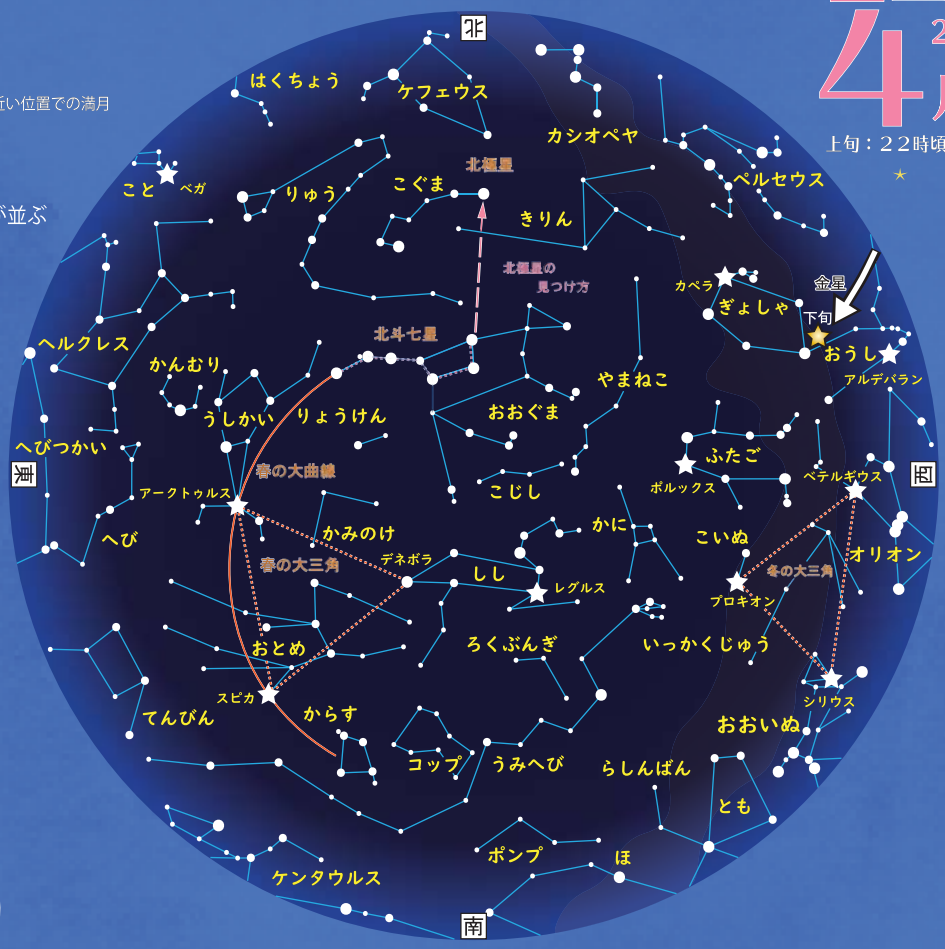
星空ニュース 2020. 4月の星空

上旬：22時頃 中旬：21時頃 下旬：20時頃

天文現象

- 4/1　上弦
- 4/8　満月 …今年月と地球が最も近い位置での満月
- 4/15　下弦
- 4/15～17　月、木星、土星、火星が並ぶ（明け方、東の空）
- 4/23　新月
- 4/27　月と金星が並ぶ（夕方、西の空）
- 4/28　金星が最大光度



★星座盤の使い方

星座盤は空にかざして方位を合わせてみて！
空と重ねると…東西の向きが正しくなるよ。

★ 惑星
★ 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星以下

ワンポイント星座

やまねこ座は4等星、5等星といった大変暗い星ばかりの星座です。この星座をつくった天文学者ヘベリウスが「やまねこ座を見つけるためには、その名の通りやまねこのような目で空を探さなければ見つからない」と言ったほど。3月～4月の夜8時頃、北の空高く、暗闇に身を隠したやまねこの姿を思い浮かべてみてください。

今月のポイント

生解説プラネタリウム

ノチウ

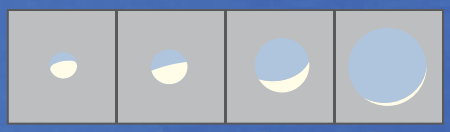
－アイヌ民族の星座をたずねて－

写真提供：公益財団法人アイヌ民族文化財団

私達が日頃親しんでいる星座には、ギリシャ神話にまつわる物語が数多く伝えられています。しかし、星を見上げ星座を描いたのはギリシャの人々に限りません。北海道に住むアイヌ民族にも独自の星の名前や星座が生まれ、語り継がれてきました。
アイヌ民族の星名や星座をひもとけば、その文化や自然観が見えてきます。そして北の大地で生まれた星座ならではの、季節をあらわす物語があります。カムイ、チュプ、ノチウ…さあ、アイヌ民族の星座の世界へ。

ペガロク ©dwarf/ 多摩六都科学館

コラム　金星の明るさに注目しよう！



3月1日　4月1日　4月28日　5月20日

金星は太陽、月に次いで明るく見える天体です。太陽の光を浴びて輝く金星は、実は月のように満ち欠けをしていて、地球に近づくほど欠ける部分が大きくなります。しかしその一方で、地球に近づくほど、見かけの大きさは大きくなります。さらに太陽の光を受けている見かけの範囲も金星と地球が近づくほど大きくなり、より一層明るく見えるようになります。そうして最も明るく見える時が最大光度というわけです。今年は4/28に最大光度（マイナス4.5等）となります。

多摩六都科学館
Tamarokuto Science Center